



広島大学

物理科学専攻

2015年ノーベル物理学賞受賞記念
特別セミナー

広島大学 極限宇宙研究拠点
CORE^U
Core of Research for the Energetic Universe
HIROSHIMA UNIVERSITY

J-PARCニュートリノ実験 の最新結果と 将来の展望

日時：10月9日(金) 14:30-16:00(質疑応答を含む)

場所：広島大学学士会館 2F レセプションホール

講師：小林 隆 氏

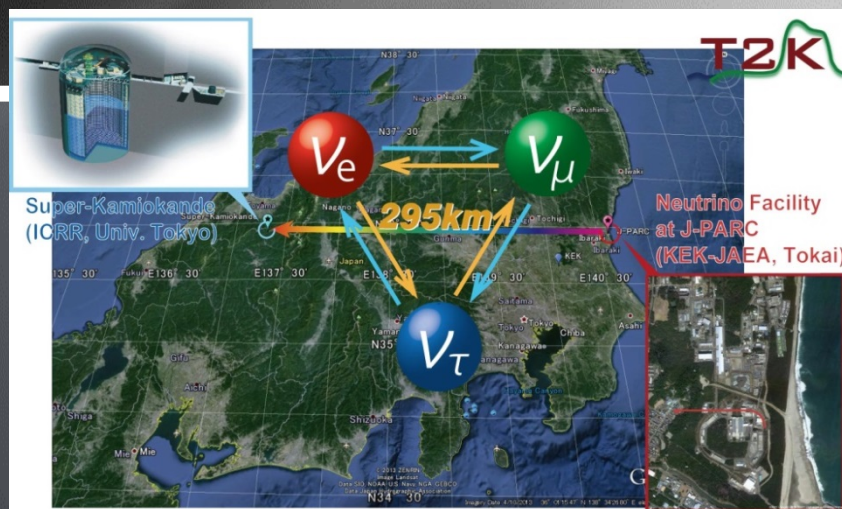
(高エネルギー加速器研究機構 教授
本学理学研究科出身)

講演概要

茨城県東海村の大強度陽子加速器J-PARCで大強度ニュートリノビームを生成し、295 km離れた5万トン水チェレンコフ検出器スーパーカミオカンデで検出する、長基線ニュートリノ振動実験T2Kの最新結果と今後の展望、さらに将来計画である100万トンハイパーカミオカンデ検出器をもちいた実験の物理ポテンシャル、展望について紹介する。

小林 隆 氏 プロフィール

本学 理学研究科出身 2014年仁科賞受賞
1968年、岡山県生まれ。広島大学大学院理学研究科で学位取得、理学博士。96年東京大学原子核研究所助手、97年高エネルギー加速器研究機構助手、同 助教授を経て2007年から現職。東大時代からT2Kの前身となるK2K実験に携わり、一貫してニュートリノ実験に取り組んでいる。最近の趣味は水泳。



ニュートリノの研究に対してノーベル物理学賞が梶田教授に与えられました。本セミナーでは、本学、理学部、理学研究科の出身である小林教授に今回のノーベル賞の研究に関する話も含め、ご自身の携わっているニュートリノ研究について話していただきます。

(連絡先 082-424-7364)